

(1) 用語説明

あ行

- アーバンスポーツ
広い競技場等を必要とせず、都市等の限られた場所で行うことが可能なスポーツ
- アプローチ・スタートカリキュラム
小学校への円滑な接続と入学後の生活への適応を目的とした就学前後の5・6歳児用のカリキュラム
- AYA世代
Adolescent & Young Adult世代の略で、15歳以上40歳未満の世代
- 池袋エリアプラットフォーム
地域主体・民間主導で池袋のまちを育て、価値を共創していくための協働・連絡体制
- 一般会計
区税や国庫・都支出金などの収入をもとに、教育・福祉や施設整備等、区の基本的な行政サービスを行う会計
- 医療的ケア児
人工呼吸器や胃ろう等を使用し、日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な児童
- インキュベーション施設
創業初期段階にある起業者に、低賃料の事務所スペースや専門家によるサポートを提供する施設

➤ インクルーシブスポーツ

障害の有無や年齢、性別に関わらず、誰もが平等に参加できるスポーツ

➤ 駅まち結節空間

池袋駅の地下通路やデッキとまちをつなぐ分かりやすい駅の出入り口

➤ エリアマネジメント

地域の良い環境や価値を維持・向上させる住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み

➤ エンパワーメント

その人が本来持つ力を発揮できるように支援し、環境を整えること。また、個人の生活や環境を自分自身でコントロールする力を持つことができるとともに、あらゆる段階の政治、経済、社会、その他の分野における意思決定の場に参画し、自律的な力を発揮すること

か行

➤ カーボン・オフセット

温室効果ガス排出量のうち、削減が困難な量をほかの場所で実現した排出削減等をもって埋め合わせる方法

➤ 基金

それぞれの目的に応じて、積立てや取崩しを行っている区の貯蓄

- 救援センター
地震等の災害により、自宅で生活することのできなくなった方々が、避難生活をするための施設
- クルドサック化
仏語で袋小路のこと。道路の一端をロータリー状の行止まりにするなど、通過交通の抑制を図るもの
- ケアリーバー
児童養護施設や里親等による養育（ケア）から離れた子ども・若者・社会的養護経験者
- 経常収支比率
財政構造の弾力性を表す、経常的収入（区税等）を経常的経費（人件費等）に充てている比率
- 公債費
借り入れた借金を返済するための経費
- 交通結節点
複数あるいは異種の交通手段の接続が行われる場所
- 子ども家庭支援センター
児童虐待の予防や早期発見、子育て相談等、子どもと家庭を総合的に支援する施設
- こども家庭センター
児童福祉部門と母子保健部門が一体となり、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を実施する機関

- 個別避難計画
災害時に自力での避難が困難な方について、あらかじめ避難の方法等を決めておく個別の避難行動計画
- コミュニティソーシャルワーカー
支援を要する人への相談支援や、地域課題解決に向け、関係機関と共に地域活動等を行う専門職

さ行

- 災害時要援護者
高齢者や障害のある方のうち、災害時の避難行動や避難生活において、特に手助けが必要な方
- 在宅医療ネットワーク
四師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護師会）を中心に構築している多職種連携の輪
- 児童発達支援センター
心身に障害や、発達に心配や偏りがある子どもとその家族、関係機関等に対し、相談及び通所、個別指導の支援を行う施設
- 住宅確保要配慮者
民間賃貸住宅市場において事故やトラブルに対する不安等により、入居を拒まれる可能性がある方

- 小1プロブレム
幼稚園や保育園から小学校に入学後、学校生活に適応できない状態が続くこと
- 情報アクセシビリティ
年齢や障害の有無等に関係なく、誰でも、必要とする情報にたどりついて利用できること
- 人口戦略会議
2023年に設立された民間有識者会議。「自治体持続可能性レポート2024」を発表した
- スクールカウンセラー
いじめや不登校等の相談、改善、解決を図ることを目的とする臨床心理士等の専門家
- スクールソーシャルワーカー
社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、子どもに関する問題解決に向け支援する専門家
- スクールロイヤー
学校で発生した様々な問題に対して、法律に基づいた助言や指導を行う弁護士等のこと
- スタートアップ
革新的なビジネスモデルにより新市場を提供し、事業価値を高めて成長する企業や組織

- ストリートファニチャー
街路や広場等に置かれるベンチ・水飲み場等の屋外装置物の総称
- ZEB化
建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすること
- society5.0
AI等の先進テクノロジーを活用することで、社会課題の解決を図り、より幸福な生活を送れる未来の社会の姿

た行

- 脱炭素社会
温室効果ガスの排出量と吸収量との均衡が保たれた社会
- ダブルケア
子育てと介護が同時期に発生する状態
- 地域型保育事業所
区が認可する保育施設。認可保育所より少人数の単位で、0～2歳の子どもを保育する施設
- 地域活動交流センター
区内で公益的な地域活動を行う団体を支援する施設（団体交流、活動の相談、会議室利用等）

- チームとしま
区制施行90周年企業実行委員会を継承・発展させた産官学の連携組織
- デコ活
CO₂を減らす脱炭素（Decarbonization）と環境に良いエコ（Eco）を含むデコと、活動・生活の活を組み合わせた新しい言葉で、国が進める脱炭素につながる新しい国民運動
- デジタルデバイド
情報通信技術の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる情報格差
- デジタルリテラシー
デジタル技術を理解し効果的に活用するスキル
- 投資的経費
学校等の施設建設・改修や、道路・公園整備等のまちづくりを行うための経費
- 特定緊急輸送道路沿道建築物
東京都地域防災計画に、震災時の避難や救急・消火活動、緊急物資輸送の大動脈となる幹線道路として位置付けられた国道等で、特に沿道建築物の耐震化を図る必要があるもの
- 特定健診
40歳以上の国民健康保険加入者が受診する生活習慣病予防のための健康診査
- 特定整備路線沿道
市街地の延焼を遮断するなど、地域防災性向上を図るため、東京都が施行している都市計画道路の沿道
- 特別区債
公共施設整備等の際、国や金融機関等から借り入れる借金
- 特別区財政調整交付金
東京都と特別区の役割分担に応じて都区間で配分され、特別区間の行政水準の均衡を図る交付金
- 豊島区災害医療検討会議
災害医療コーディネーター、地域医療に従事する関係機関、警察・消防、区職員等で構成する会議体
- としま健康チャレンジ！
健康事業の参加でポイントを獲得、一定のポイントで特典を得られる健康増進ポイントプログラム
- としま地域未来塾
区の施設等で実施している区立中学1年生～3年生を対象とした、自主学習をサポートする無料学習支援

➤ としま福祉事業協同組合
 中小企業協同組合法に基づき2020年に設立した、区内介護サービス事業者等の協同組合

➤ としま文化の日
 文化によるまちづくりを推進するため、「としま文化の日」として条例で定めた11月1日のこと

な行

➤ ナイトタイムエコノミー
 夜間の経済活動。夜間の様々な取組で、地域の魅力を発信し、消費拡大等につなげる考え方

➤ にしまルーム
 西池袋中学校の子どもが気軽に立ち寄り、思い思いに過ごせる校内の居場所のこと

➤ 2050ゼロカーボン
 2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすること

は行

➤ HACCP（読み：ハサップ）
 食品製造・加工工程の国際的な食品衛生管理基準・安全管理基準のこと

➤ 8050問題
 支援につながらずに孤立、困窮することが問題となっている高齢の親と不就労の子の同居世帯

➤ VR（Virtual Reality）
 コンピューターで作成した仮想空間を、現実のように体験できる技術のこと

➤ 福祉救援センター
 発災時に高齢者、障害者、乳幼児等、特別な配慮を必要とする方を受け入れるための施設で、資器材、人材を備えた救援センター

➤ 不合理な税制改正
 法人住民税や地方消費税制度の見直し・ふるさと納税等、特別区の財源を奪う国の税制改正

➤ 扶助費
 児童手当・保育所運営・生活保護・医療費援助等、社会保障に必要な経費

➤ 普通会計
 財政状況の統一的な把握及び比較を目的とした各地方公共団体の会計を総務省の定める基準で再構成した会計区分

➤ プラットフォーム
 多様な主体が連携する基盤となる場や環境

- ▶ フレイル・プレフレイル
フレイルとは虚弱を意味し、加齢とともに心身の活力（筋力や認知機能等）が低下すること。フレイルの手前の状態を「プレフレイル」という
- ▶ プレーパーク
「冒険遊び場」とも呼ばれ「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした屋外のおそび場
- ▶ プレコンセプションケア
男女ともに性や健康に関する正しい知識を身につけ、健康管理を行うよう促すこと
- ▶ プレミアム付商品券
商店街活性化や区民生活支援のため、額面よりも低額で購入可能等の特典を付加して発行する商品券

ま行

- ▶ マイほいくえん
未就園児の子どもを在宅で子育てしている方が保育園を身近な子育ての拠点として登録し、育児相談や保育園イベントへの参加ができる事業
- ▶ みどり率
緑が地表を被う部分と、水面と公園内の緑に被われていない部分の合計面積が地域全体に占める割合

や行

- ▶ ヤングケアラー
家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者
- ▶ 四師会
豊島区医師会、豊島区歯科医師会、豊島区薬剤師会、豊島区看護師会の総称

ら行

- ▶ リカレント
職業上の学び直しを含むとともに、職業と直接的に結びつかない教養等を含む広義の学び直し
- ▶ リスキリング
職業上新たに求められる能力やスキルを身につけること。職務上の学び直し
- ▶ リプロダクティブ・ヘルス・ライツ
性と生殖に関する健康と権利。身体的・精神的・社会的にも、性や身体について自分自身の意思で決定できること

(1) 豊島区基本構想審議会

① 審議経過

会議	開催日	主な審議内容
第1回	令和6年2月22日	区の現状、構想・計画の枠組み
第2回	令和6年3月18日	人口の現状分析、構想（素案イメージ）
第3回	令和6年5月24日	構想（素案）、計画策定方針、将来人口推計
第4回	令和6年7月23日	計画総論、まちづくりの方向性について
第5回	令和6年7月30日	まちづくりの方向性

会議	開催日	主な審議内容
第6回	令和6年9月6日	まちづくりの方向性
第7回	令和6年9月11日	まちづくりの方向性
第8回	令和6年9月12日	構想（素案）、まちづくりの方向性
第9回	令和6年10月30日	構想・計画（素案）
第10回	令和7年1月23日	パブリックコメント実施結果、構想・計画（案）

② 豊島区基本構想審議会委員名簿

職	氏名	区分	役職等
会長	原田 久		立教大学法学部教授
会長 職務代理	萩原 なつ子		独立行政法人国立女性教育会館理事長
委員	市古 太郎	学識経験者	東京都立大学都市環境学部教授
	柏女 霊峰		淑徳大学総合福祉学部特任教授
	金子 一彦		東京学芸大学教職大学院特任教授
	金 潔		大正大学人間学部教授
	滝澤 美帆		学習院大学経済学部教授
	塚田 ひさこ		区議会議員
	高橋 佳代子	区議会議員	
	芳賀 竜朗	区議会議員	
	細川 正博	区議会議員	
		垣内 信行	区議会議員

職	氏名	区分	役職等
委員	市原 昭	区内に住所又は 勤務先を有する者	公募区民
	大村 晴美		公募区民
	奥村 実穂		公募区民
	平野 翔大		公募区民
	平松 恵一郎		公募区民
	吉田 由希恵		公募区民
		区職員	副区長
	天貝 勝己		副区長
	上野 雄一		副区長
	金子 智雄		教育長

※敬称略・区分ごとに原則五十音順。区議会議員は議席順

(2) 区民の声を把握するための取組・調査

①未来としまミーティング

開催日	テーマ	参加者	参加人数
令和6年7月24日	環境（気候変動・脱炭素、生活環境保全、循環型社会）	①区内高校生・大学生 ②としまクリーンサポーター	32人
令和6年8月8日	外国人が住みやすいまち	①豊島区在住・在勤・在学の外国人（中国、フランス、ミャンマー、ネパール、台湾） ②区内の外国人支援団体等	10人
令和6年8月27日	大学生が考える「住みたい、住み続けたいまち」	「豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定」を締結する8大学の学生	15人

※未来としまミーティング・・・区政や区民生活に関わる様々なテーマについて、区長が区民と意見交換する会議

②としま子ども会議

開催日	参加者	対象
令和6年9月8日	25人	区内在住・在学の小学校4年生～18歳の子ども若者（申込者31人、参加者25人）
実施概要	子どもが区政について話し合い、自分の意見を発表する同会議において、子どもたちがあらかじめ定めたテーマごとにグループに分かれ、10年後の豊島区を意識して意見交換を行った後、区に対して発表を行った。	
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ①10年後の豊島区 ②みんなで、池袋駅東口の駅前広場の形と楽しい使い方を考えよう！ ③豊島区で楽しくスポーツを続けるためにできることを考えよう！ ④ヤングケアラーについて知ろう！広めよう！ 	

③区民ワークショップ

実施目的	基本構想・基本計画の策定に際し、区民の声・意見等を把握し、各施策に反映させるため。	
実施概要	参加者がまちづくりの主要なテーマごとにグループをつくり、課題や解決策、区と区民・事業者に期待される役割等を話し合った。グループワークでは、参加者の意見や考えを引き出すため、区のまちづくりに精通する外部人材をファシリテーターとして活用するとともに、政策形成過程の経験や柔軟な発想の活用を目的として、区若手職員もファシリテーターのサポート役として参加した。	
実施日時	1日目 令和6年9月15日（日）午前10時～午後4時15分 2日目 令和6年9月29日（日）午前10時～午後4時45分	
対象者	区内に在住する18歳以上の区民4,000人 住民基本台帳から無作為抽出し、開催案内を郵送して募集	
参加者	参加者数 2日間合計73名（1日目39名、2日目34名）	
テーマ	1日目	2日目
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 孤立を生まない地域づくり ○ 子育てしやすいまちづくり ○ 地域防災力の向上 ○ 地域における文化振興 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ライフステージに応じた健康づくり ○ 地域・学校・家庭の連携のあり方 ○ 町会活動の活性化 ○ 魅力ある公園づくり

④パブリックコメント

実施期間	提出者数	意見数
令和6年11月25日～12月24日	82人・団体	424件
閲覧場所	行政情報コーナー、区民事務所（東・西）、各図書館、各区民ひろば、企画課、区ホームページ	

⑥区民意識調査

調査対象	区内に2年以上在住する18歳以上の区民
標本数	区民5,000人
抽出方法	区内を5地域に分割し、各地域より住民基本台帳から1,000人を無作為抽出
調査方法	自記式調査票による郵送配布・郵送回収又はインターネット回答
調査時期	令和6年11月20日～12月9日
回収結果	回収1,675件（33.5%）（発送数5,000件）
調査内容	○豊島区の印象について ○地域の生活環境の評価と今後の優先度について ○区の情報・区の政策等について ○区政全般への要望について

⑤区民説明会

	開催日	会場	参加人数
第1回	令和6年12月4日	区民ひろば千早（いきいきひろば）	12人
第2回	令和6年12月6日	区役所1階 としまセンタースクエア	20人
第3回	令和6年12月11日	南大塚地域文化創造館（第1会議室）	22人

⑦在勤者・来街者意識調査

調査対象	①在勤者：区内に居住経験のない、18歳以上の区内在勤者
	②来街者：区内に居住経験のない、18歳以上の来街経験のある者
標本数	①1,000人 ②1,000人
抽出方法	WEB調査会社登録モニターより該当者を抽出
調査方法	インターネット方式によるアンケート調査
調査時期	令和6年9月19日～9月27日
調査内容	○豊島区の印象について ○豊島区内での普段の行動について ○豊島区での居住について ○これからの豊島区のまちづくりについて

豊島区基本構想・基本計画

基本構想 | 2025-2034【令和7～16年度】 / 基本計画 | 2025-2029【令和7～11年度】

編集・発行

令和7（2025）年3月
豊島区政策経営部企画課
〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
電話番号：03-3981-1111（代表）